

# 第14期

# 第2四半期決算説明会

(2017年1月1日～6月30日)

2017年8月4日

株式会社ワイヤレスゲート

(東証第一部:9419)



# 本日のご説明内容

---

- 2020年ビジョン中期経営計画ダイジェスト
- 業績ハイライト
- 上方修正通期会社計画

# 総括

2020年中期経営計画の達成に向けた  
道筋に沿って順調に進行中

# 中期経営計画の基本方針

## 基本方針

「ワイヤレス・ブロードバンドサービスを通じて、  
より創造性あふれる社会の実現を目指す。」  
2020年を創成期と位置づけ、事業ポートフォリオの転換を断行する。

## 事業戦略

安定収益事業であるBtoC事業を堅持しつつ、成長事業であるBtoB事業（ワイヤレス・ビジネスドメイン事業）に経営資源を集中投資する。

安定的な配当を行いつつ、中長期的な企業価値の増大を目指す。

## 計数目標

売上高	150～200億円規模	（2016年実績比 約23%～63%成長）
営業利益	20～30億円規模	（2016年実績比 約60%～140%成長）
営業利益率	13～15%程度	（2016年実績 10.2%）

## BtoC事業の戦略骨子

---

- **Wi-Fiインフラの強化**
  - Wi-Fi事業者からの卸契約の拡大
- **通信サービスの再編成**
  - SIM事業の再編成
  - ラインナップの見直しとWi-Fi網の更なる強化
- **通信サービスと親和性の高い周辺機器ベンダーとの協業**
  - MAMORIOなどのセット販売
- **通信サービスの卸販売などによる販売経路の多様化**
  - 通信事業者、サービス事業者への卸販売

# ワイヤレス・ブロードバンド事業進捗

---

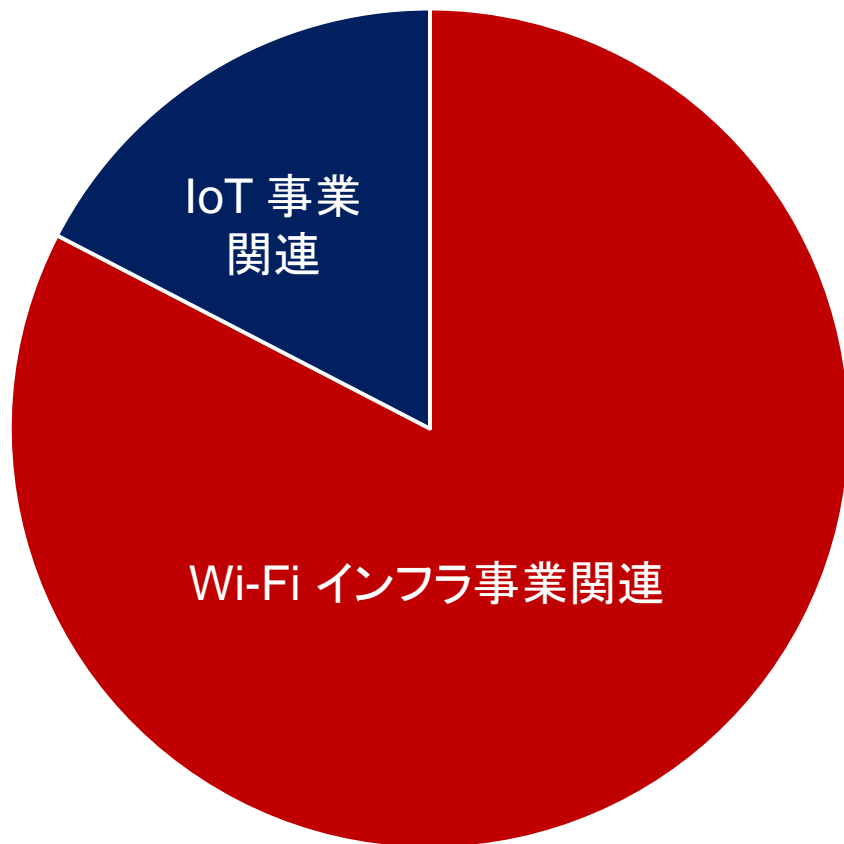
- 「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」の会員数が堅調に増加
- 販売単価向上に向けた追加施策
- 既存顧客の退会防止の有効手段の確立

## BtoB事業の戦略骨子

---

- **持続可能なフリーWi-Fi環境の構築**
  - マネタイズモデルの導入
- **セキュアで高速/大容量な通信インフラの構築**
  - LTE over Wi-Fi 技術の活用
- **投資を含めたビジネスアライアンスの推進**
  - 事業シナジーが見込める企業への戦略的投資

# 事業シナジーのある企業への戦略的な事業投資



累計投資額 約20億円

## 【主な事業投資先】

- IoT事業
  - ・nCore
  - ・LTE-X
  - ・MAMORIO
  - ・アジュールパワー
  - ・Liquid
  - ・Secual
- Wi-Fi インフラ事業
  - ・フォン・ジャパン
  - ・Andeco
  - ・Tangerine
  - ・デジサーフ
  - ・関西ブロードバンド



# ワイヤレス・ビジネスドメイン 事業の進捗について

---

## ワイヤレス・ビジネスドメイン事業進捗

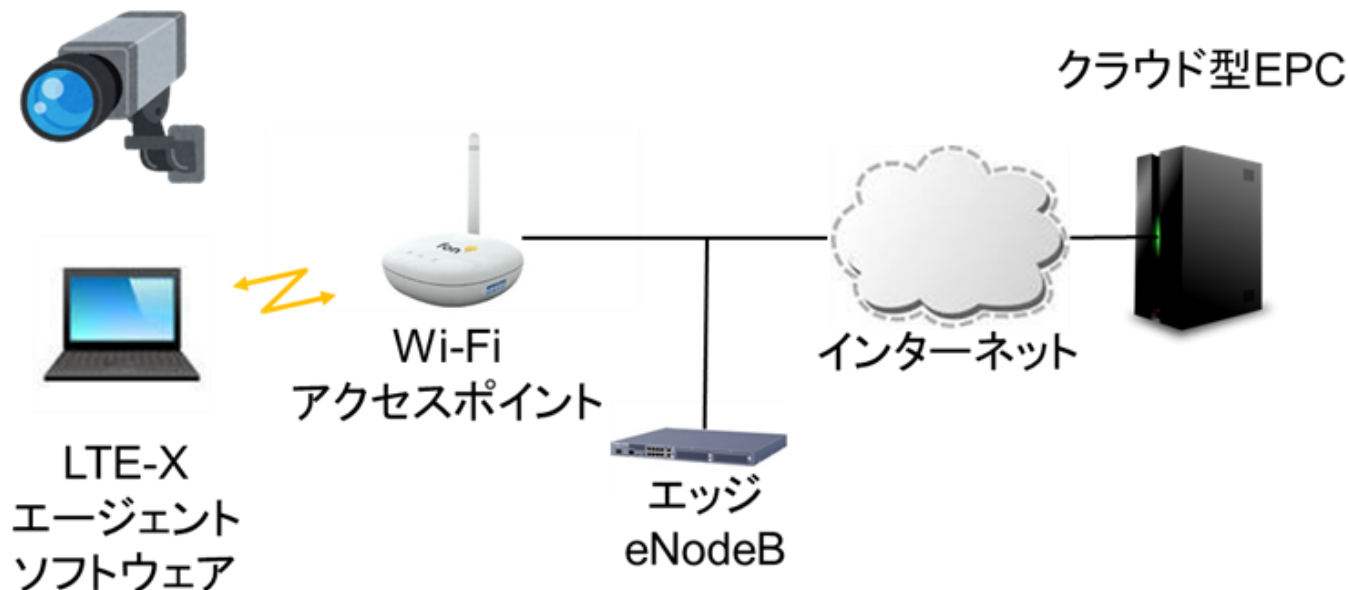
---

- LTE-Xの事業展開が順調に進捗中
- IoTサービスを中心に売上拡大
- 他の通信事業者への認証プラットフォームの大型案件の受注

# LTE-Xの事業進捗

2017年4月27日発表  
産業用IoT向け検証キットの販売開始

販売開始日: 2017年4月末  
検証キット販売価格: 100万円(税別)



# 業績ハイライト

---

# 2017年12月期中間業績予想との差異

(百万円、%)

	2017年12月期 第2四半期累計期間実績(連結)			2017年12月期 第2四半期累計期間 業績予想(連結)	
	実績	売上高 構成比	達成率	予想	売上高 構成比
売上高	6,030	100.0%	95.6%	6,305	100.0%
営業利益	437	7.3%	162.8%	268	4.3%
経常利益	358	5.9%	190.3%	188	3.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	201	3.3%	163.5%	123	2.0%

## 差異要因

**売上高** ワイヤレス・ブロードバンド事業(BtoC事業)は、計画に織り込んでいた新たなSIMサービスの投入を見送ったこと等から、当初の計画をやや下回って推移  
 ワイヤレス・ビジネスドメイン事業(BtoB事業)は、概ね順調に推移

**営業利益** 子会社LTE-Xにおいて順調に事業を進捗させつつもコストを想定よりも抑えられたこと、「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」サービスにおいて想定よりも利益率が高くなっていること等から、当初の計画を大幅に上回って推移

# サービス別 ① ワイヤレス・ブロードバンド事業

## イ. モバイルインターネットサービス

売上高 5,416百万円（前年同期比 4.2 % 減）

- ・「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」の会員数が堅調に増加  
今後、新規会員の更なる獲得・既存顧客の退会防止・販売単価向上に向けた追加施策を実施
- ・「ワイヤレスゲートSIM」は、現行の販売ブースの構成をより有効的に活用する方針へ転換  
既存サービスはラインナップの見直しを行い、収益性が改善

## ロ. 公衆無線LANサービス

売上高 303百万円（前年同期比 13.2 % 減）

- ・家電量販店における新規会員の獲得が鈍化  
今後、家電量販店以外の販路の拡大やWi-Fiスポットの拡充を目指す

## ハ. オプションサービス

売上高 51百万円（前年同期比 5.0 % 減）

- ・「電話リモートサービス」、「スマート留守電」等

## サービス別 ② ワイヤレス・ビジネスドメイン事業

---

### イ. 認証プラットフォームサービス

売上高 51百万円（前年同期比 221.1 % 増）

- ・ 他通信事業者への認証プラットフォーム提供拡大

### ロ. その他法人向けサービス

売上高 189百万円（前年同期比 275.1 % 増）

- ・ 「Wi-Fiインフラ事業」、「IoTサービス」、  
「法人向けSIMサービス」の拠点数や顧客数が段階的に拡大

# 上方修正 通期会社計画

---



# 2017年12月期通期連結業績予想の修正

(百万円、%)

	前回発表予想 (2月公表)		今回修正予想 (8月公表)		増減額	増減率	2016年12月期 通期
	通期	構成比	通期	構成比			実績
売上高	13,097	100.0%	13,097	100.0%	-	-	12,239
営業利益	650	5.0%	819	6.3%	168	26.0%	1,250
経常利益	513	3.9%	683	5.2%	170	33.1%	1,098
親会社株主に帰属する 当期純利益	336	2.6%	415	3.2%	78	23.3%	693
1株当たり当期純利益	32.68	-	40.07	-	-	-	67.57

# 第14期 修正会社計画(第2四半期実績及び進捗率)

(百万円、%)

決算期 項目	2017年12月期 第2四半期 累計期間 (実績)		2017年12月期 通期 (修正会社計画)				2016年12月期 通期 (実績)	
	実績	構成比	予想	構成比	進捗率	増減比	実績	構成比
売上高	6,030	100.0	13,097	100.0	46.0	7.0	12,239	100.0
営業利益	437	7.3	819	6.3	53.4	-34.5	1,250	10.2
経常利益	358	5.9	683	5.2	52.4	-37.8	1,098	9.0
親会社株主に 帰属する 当期(四半期) 純利益	201	3.3	415	3.2	48.6	-40.2	693	5.7

## IR／SR計画

---

- 海外IRの実施
  - 台湾において、機関投資家向けIRロードショーの実施（2017年6月）
- 今後の予定
  - 機関投資家向けIRロードショー（国内外）
    - 主に欧州／北米／アジアなど
  - 個人投資家説明会

# 経営理念



「ワイヤレス・ブロードバンドサービスを通じて、  
より創造性あふれる社会の実現を目指す。」

# 第14期 第2四半期決算説明会

***DATABOOK***

株式会社ワイヤレスゲート

# 前期比(2017年対2016年)

(百万円、%)

	2017年12月期 第2四半期累計期間 実績(連結)			コメント	2016年12月期 第2四半期累計期間 実績(連結)	
	実績	構成比	増減比		実績	構成比
売上高	6,030	100.0%	-1.6%	BtoC事業:前年同期比に比べ減少しているものの、「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」の会員数が堅調に増加 BtoB事業:概ね順調に推移	6,129	100.0%
売上総利益	1,451	24.1%	-5.4%		1,533	25.0%
販売費及び一般管理費	1,013	16.8%	13.1%	利益率の高い公衆無線LANサービスの売上高が減少したこと、「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」サービスの顧客獲得に関わる販売関連費用が増加したこと、子会社LTE-Xにおける事業展開コストが増加したこと等による	896	14.6%
支払手数料	403	6.7%	-30.3%		578	9.4%
人件費等	191	3.2%	41.7%		135	2.2%
販売促進費	275	4.6%	242.5%		80	1.3%
業務委託費	42	0.7%	-8.1%		45	0.7%
その他	100	1.7%	79.9%		56	0.9%
営業利益	437	7.3%	-31.4%	上記の結果	637	10.4%
営業外損益	-79	-1.3%	-22.5%	前期に計上されていた上場関連費用が発生しなかったこと及びフォン・ジャパン株式会社の持分法投資損失	-102	-1.7%
経常利益	358	5.9%	-33.0%	上記の結果	535	8.7%
特別損益	-12	-0.2%	—	投資有価証券評価損	—	—
税引前四半期純利益	345	5.7%	-35.4%	上記の結果	535	8.7%
法人税等	157	2.6%	-23.4%	—	205	3.3%
法人税、住民税及び事業税	161	2.7%	-18.8%	—	198	3.2%
法人税等調整額	-4	-0.1%	-162.5%	—	6	0.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	201	3.3%	-38.9%	上記の結果	330	5.4%

# セグメント別四半期売上高推移

(百万円)

	2016年12月期				2017年12月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	3,029	3,099	3,096	3,014	3,052	2,977
ワイヤレス・ブロードバンド事業	3,009	3,048	3,030	2,967	2,929	2,841
ワイヤレス・ビジネスドメイン事業	18	47	57	45	111	128
その他	1	3	8	1	11	7

\*2016年4Qより、売上高の管理区分を見直しておりますが、新区分を考慮した推移となっております。

# 2017年12月期業績予想

(百万円、%)

	2017年12月期 業績予想							2016年12月期 通期	
	上期(実績)	構成比	下期	構成比	通期	構成比	増減比	実績	構成比
売上高	6,030	100.0%	7,067	100.0%	13,097	100.0%	7.0%	12,239	100.0%
営業利益	437	7.3%	381	5.4%	819	6.3%	-34.5%	1,250	10.2%
経常利益	358	5.9%	325	4.6%	683	5.2%	-37.8%	1,098	9.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	201	3.3%	213	3.0%	415	3.2%	-40.2%	693	5.7%
1株当たり当期純利益(円)	19.53	-	20.54	-	40.07	-	-	67.57	-



## 将来見通しに対する注意事項

- ✓ 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報 (forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ✓ これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ✓ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

# 参考資料集

## 第14期

# 第2四半期決算説明会

(2017年1月1日～6月30日)

2017年8月4日

株式会社ワイヤレスゲート  
(東証第一部：9419)



# 会社概要

商号	株式会社ワイヤレスゲート
本社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲郵船ビル5F
設立	2004年1月26日設立
代表取締役CEO	池田 武弘(工学博士、創業者)
資本金	877,430,900円(2017年6月30日現在)
従業員数	21名(2017年6月30日現在)
主要取引先	株式会社ヨドバシカメラ、UQコミュニケーションズ株式会社、ソフトバンク株式会社、株式会社NTTドコモ、株式会社ケイ・オプティコム、株式会社電通グループ、住友商事株式会社、株式会社ティーガイアなど
事業内容	ワイヤレス・ブロードバンドサービスの提供 Wi-Fiインフラ事業、IoTサービス、プリペイドSIMサービス  コーポレートサイト <a href="http://www.wirelessgate.co.jp/">http://www.wirelessgate.co.jp/</a> IRサイト <a href="http://www.wirelessgate.co.jp/ir/">http://www.wirelessgate.co.jp/ir/</a>

# 沿革

## ワイヤレス・ブロードバンド社会の到来を見越し、いち早く創業・発展



### 【主な事業投資先】

#### IoT事業

- ・nCore
- ・LTE-X
- ・MAMORIO
- ・アジュールパワー
- ・Liquid
- ・Secual

#### Wi-Fi インフラ事業

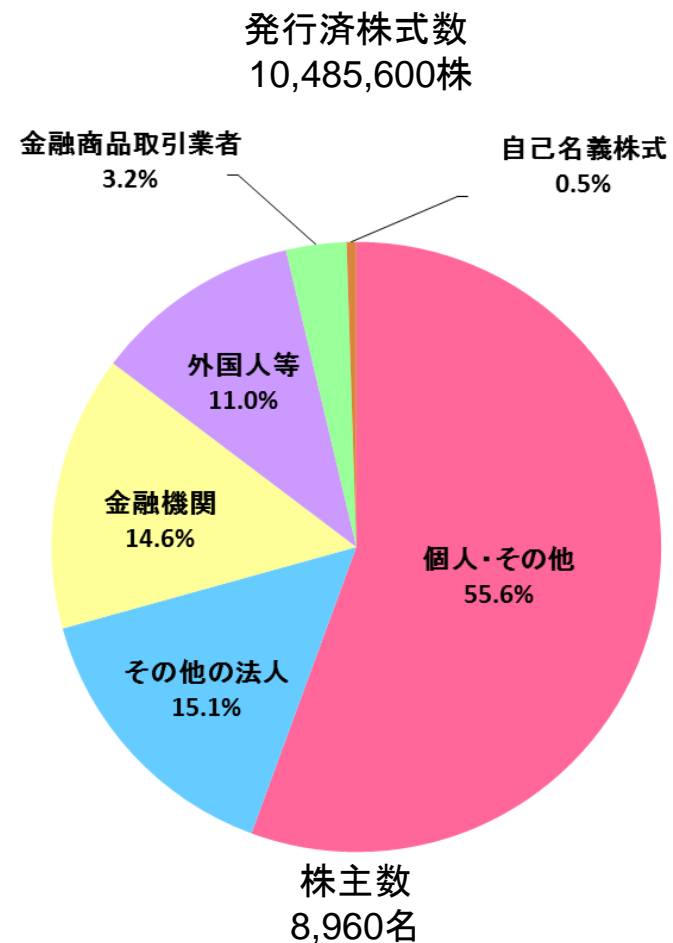
- ・フォン・ジャパン
- ・Andeco
- ・Tangerine
- ・デジサーフ
- ・関西ブロードバンド



# 大株主の状況・所有者別株式分布状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社ヨドバシカメラ	1,416,400	13.5
池田 武弘	689,569	6.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	588,400	5.6
藤沢 昭和	400,000	3.8
ザ バンク オブ ニューヨーク 133612	211,900	2.0
ザ バンク オブ ニューヨーク 133524	200,300	1.9
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT	191,186	1.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	188,300	1.8
日本生命保険相互会社	180,000	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	146,100	1.4

(注)持株比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。



(注)2017年 6月30日時点

# 無線通信技術比較

複数の無線通信技術を組み合わせることが重要

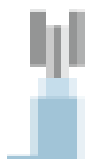
	Wi-Fi	WiMAX	LTE
スピード	◎	○	○
エリアカバレッジ	×	○	◎
料金	◎	△	×
利用可能端末	◎	×	△
データ容量制限	◎	◎	△
周波数帯	非免許帯	免許帯	免許帯

# ポジショニング

無線通信  
キャリア



Wi-Fi



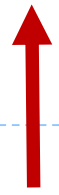
WiMAX  
(TD-LTE)



LTE  
(FDD-LTE)

...

ワイヤレス  
プラットフォーム



Wi-Fi  
インフラ



借り受け

販売チャネル/  
事業パートナー



ワイヤレス  
サービス



協業

量販店/  
小売店

デバイス  
ベンダー

ソリューション  
プロバイダー

ロケーション  
オーナー

...

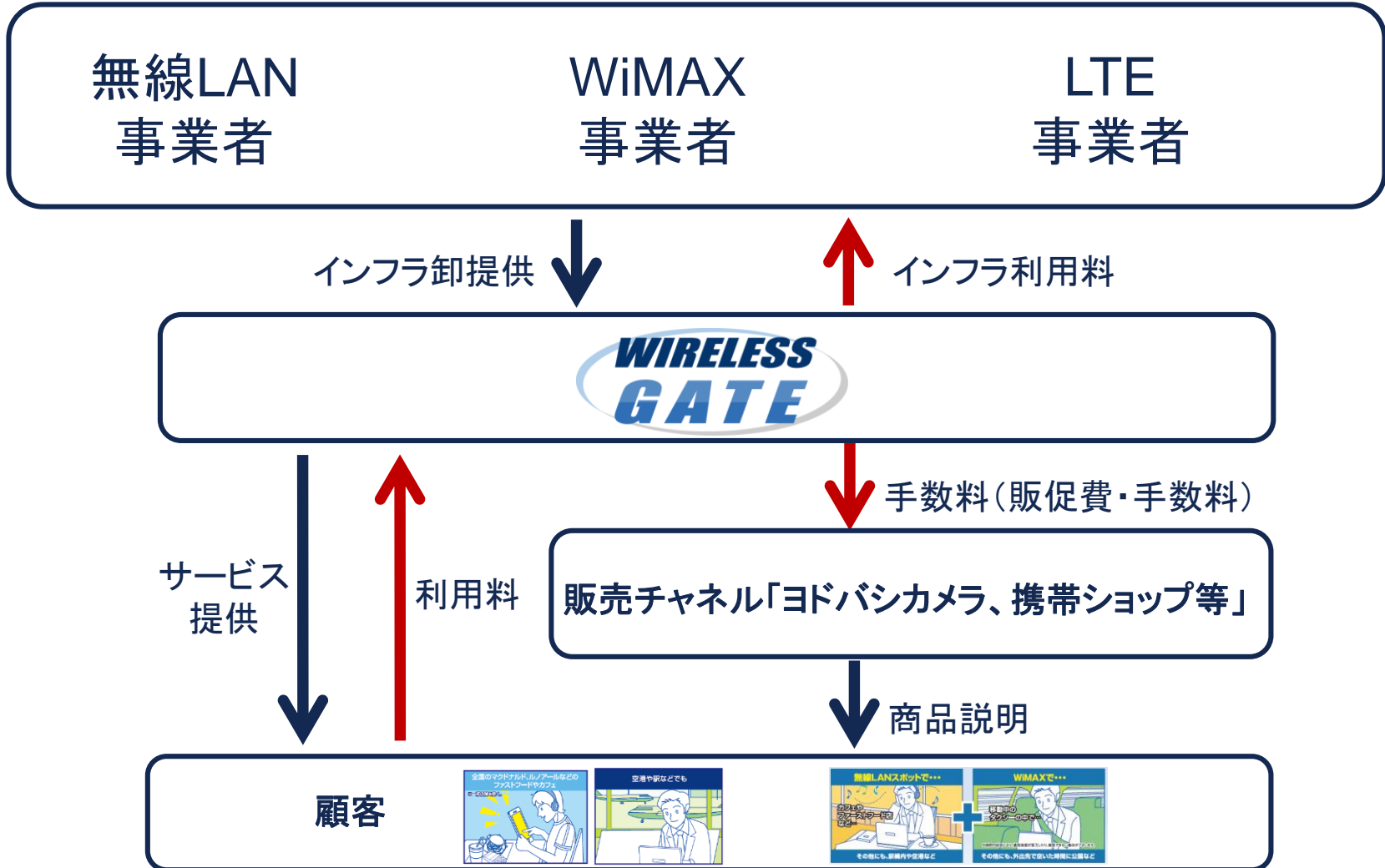
顧客

個人ユーザ

ビジネスユーザ

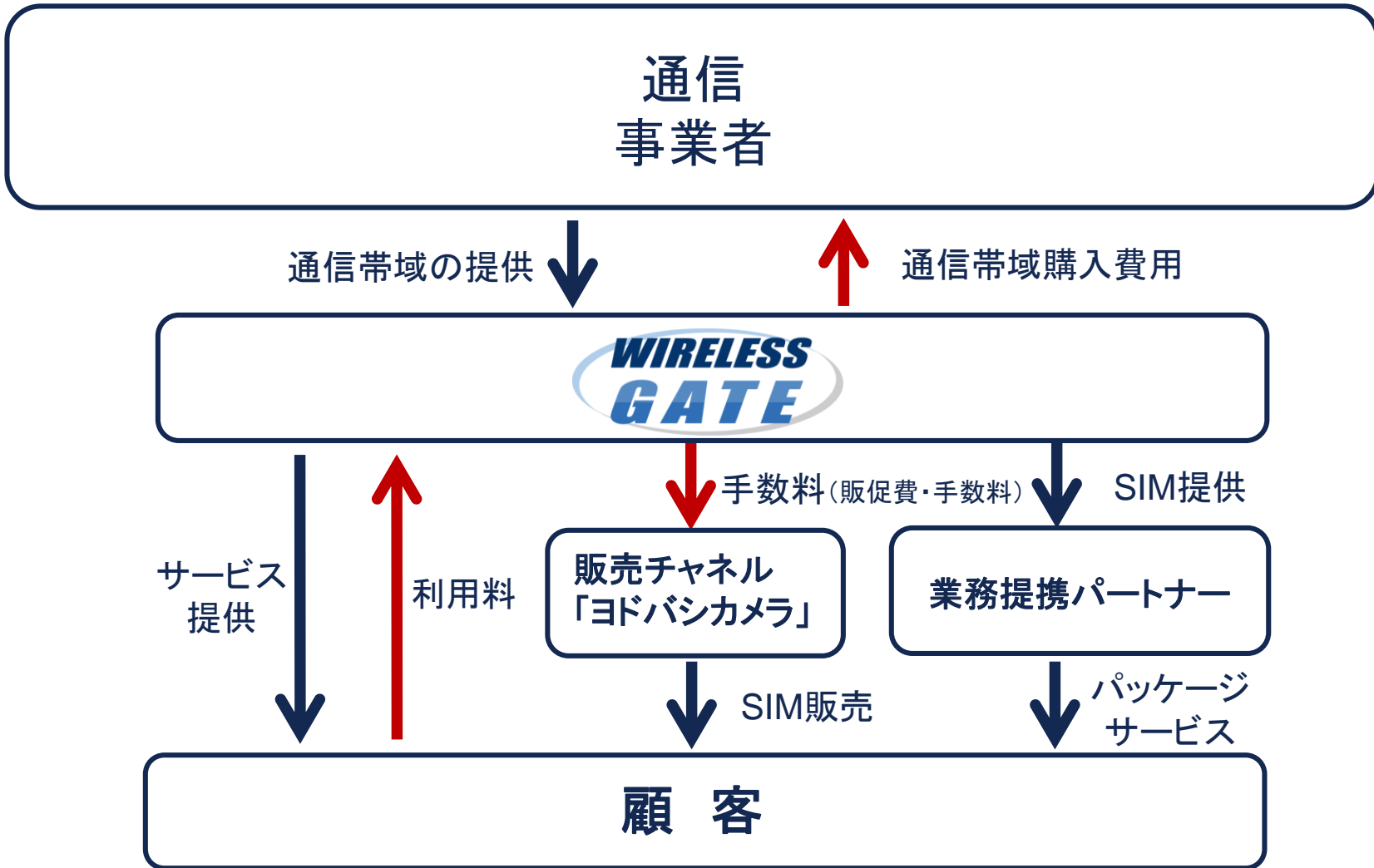
...

# ビジネス構造(ワイヤレス・ブロードバンド事業)

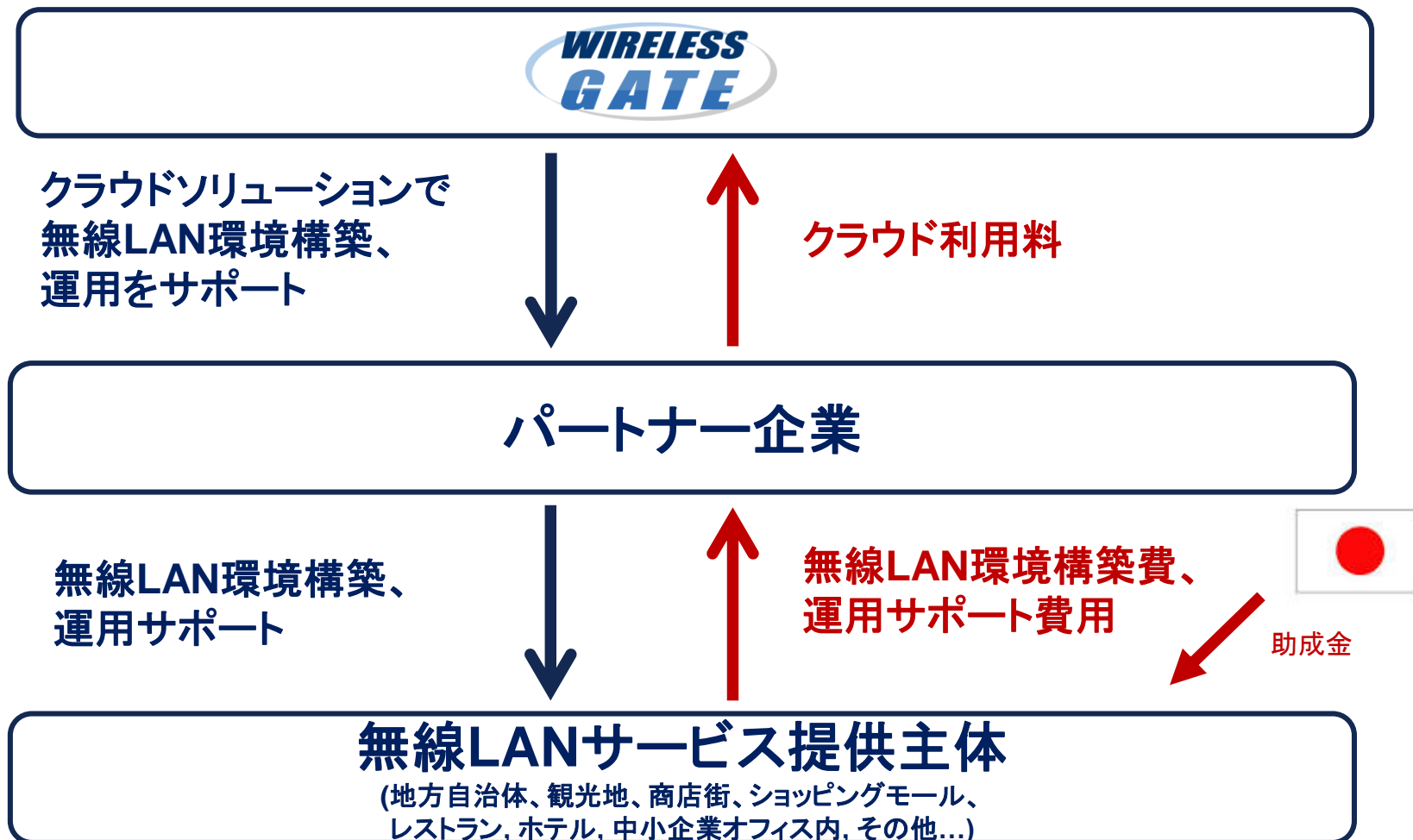




# ビジネス構造 (SIM事業)



# ビジネスモデル (Wi-Fiインフラ事業)



# 収益モデル

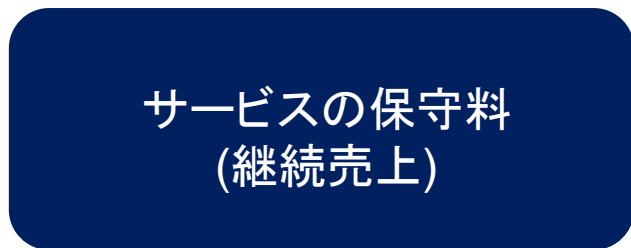
ワイヤレスゲート

パートナー企業

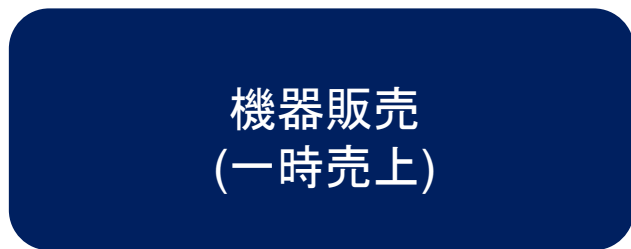
サービス導入者



レベニューシェア



レベニューシェア

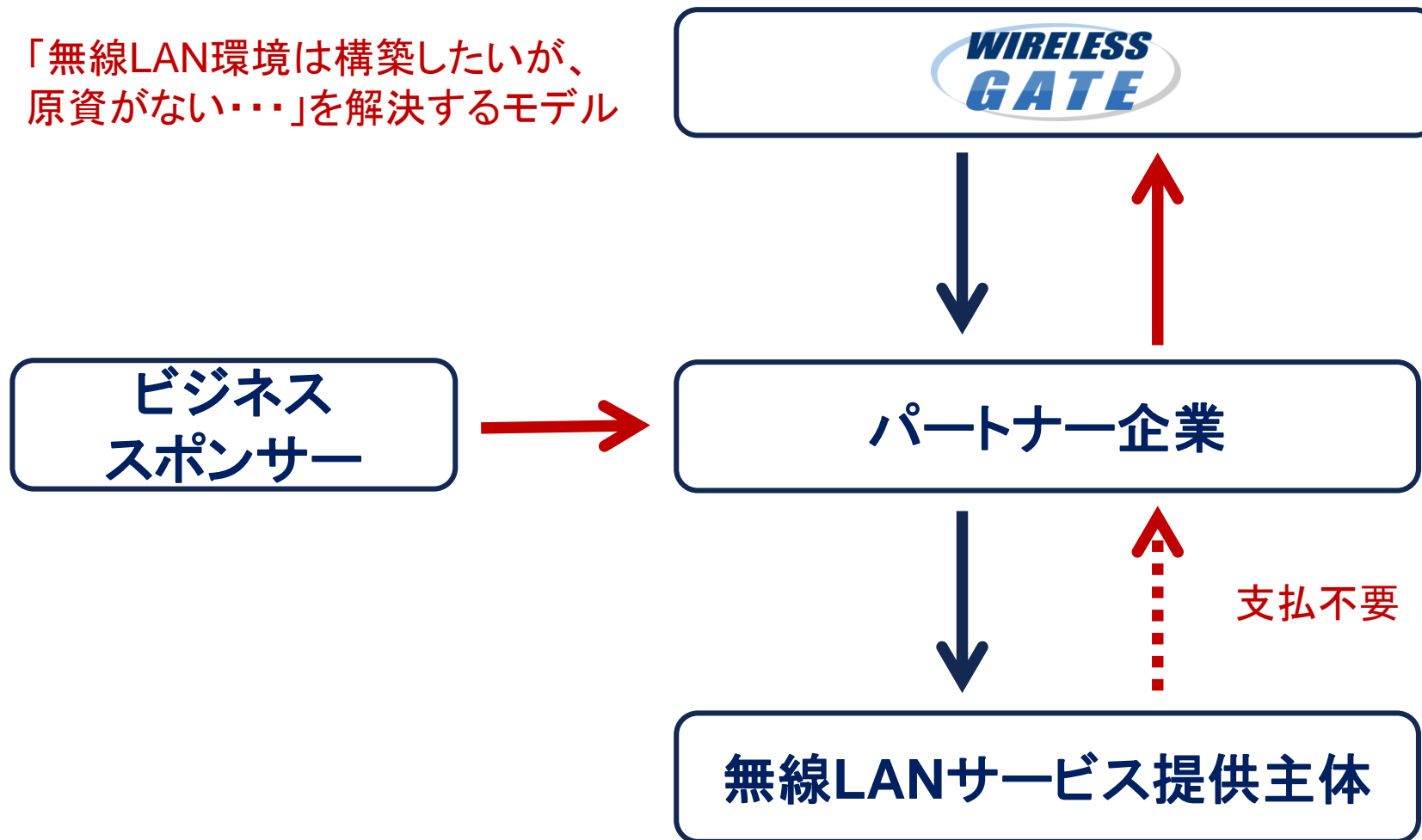


レベニューシェア



# 拡張ビジネスモデル(スポンサーモデル)

「無線LAN環境は構築したいが、  
原資がない・・・」を解決するモデル



# インバウンド市場

---

# 訪日外国人数の推移

(万人)

7,000

6,000

5,000

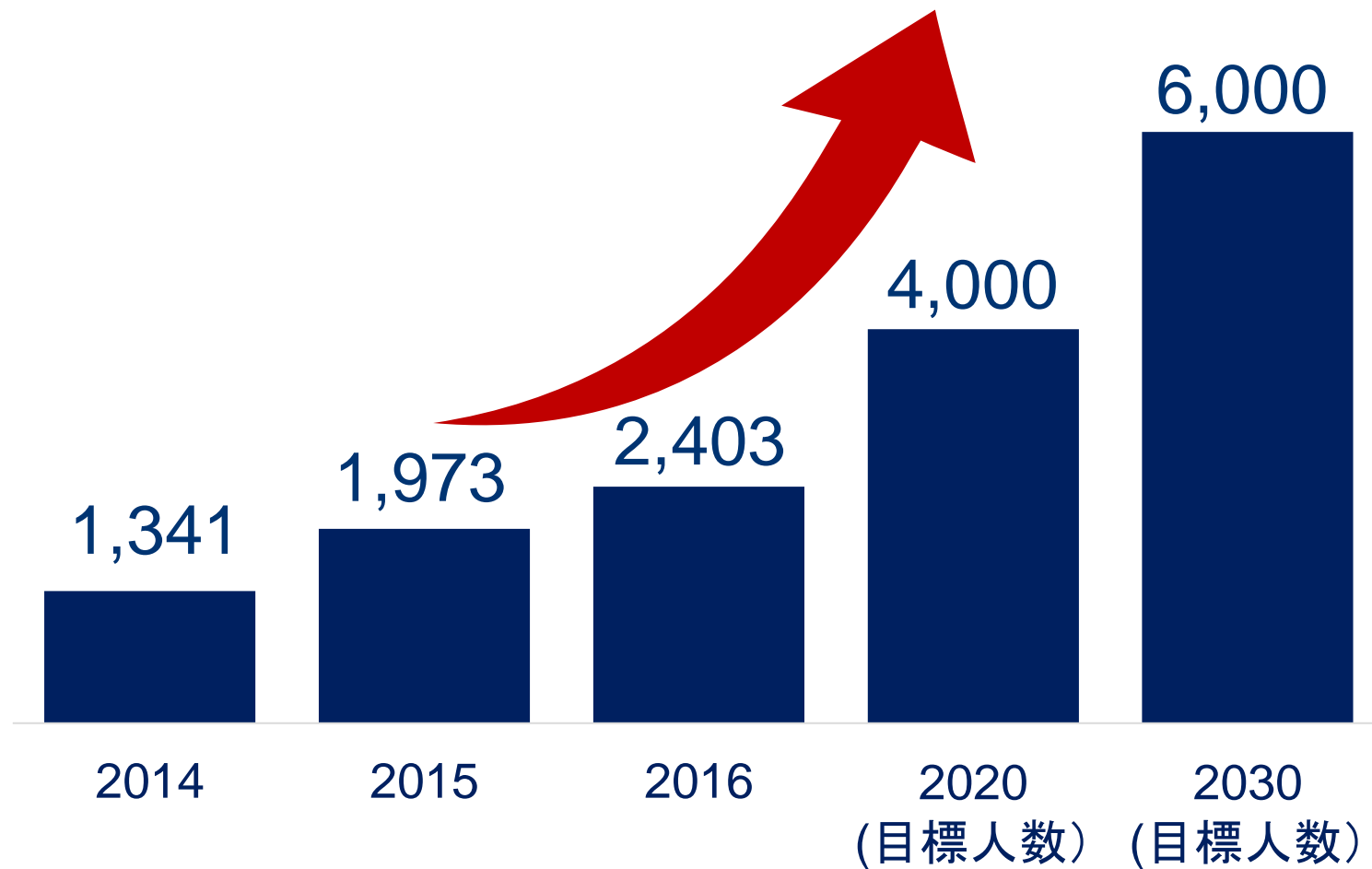
4,000

3,000

2,000

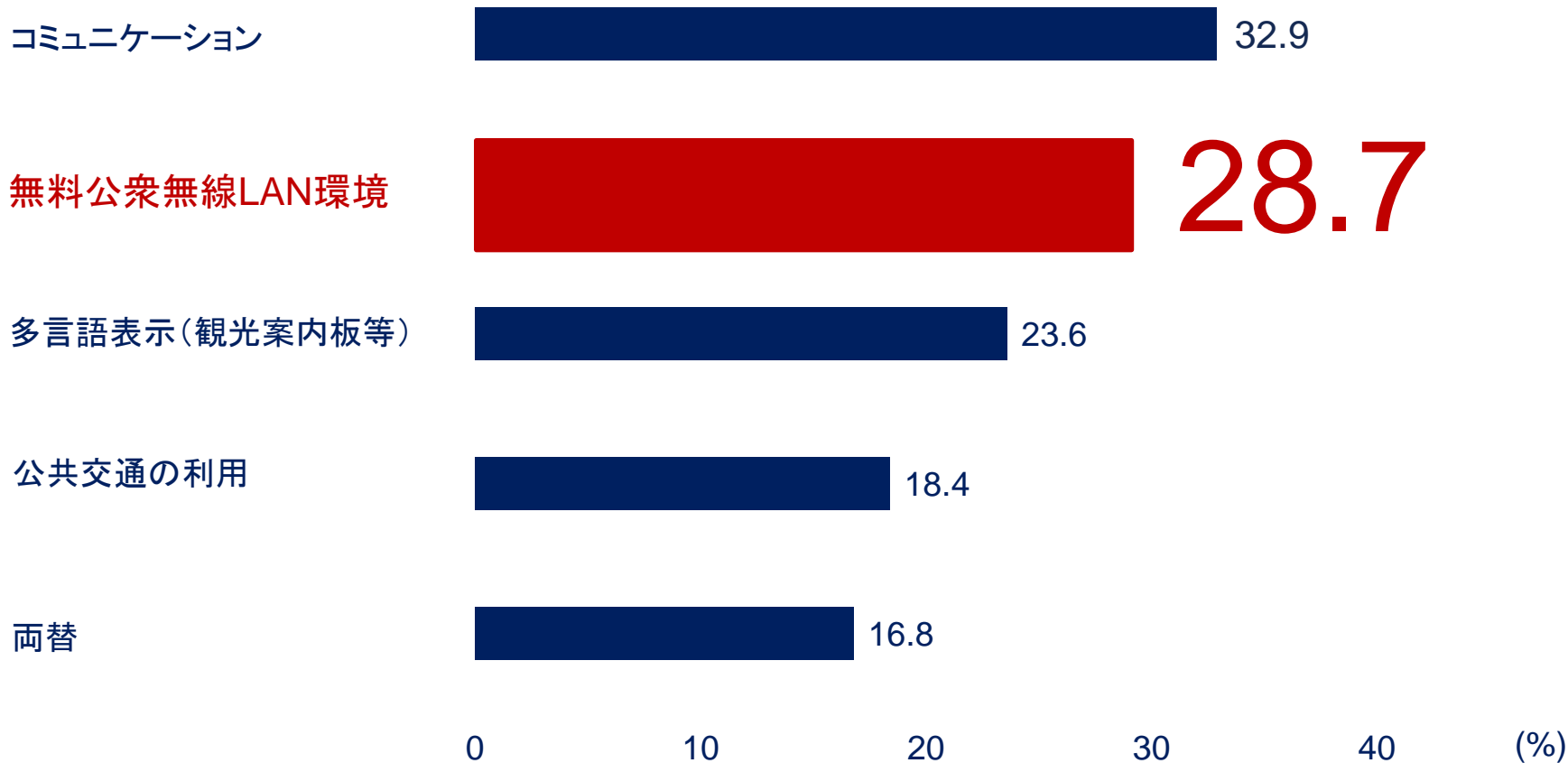
1,000

0



出所:「明日の日本を支える観光ビジョン」施策集・日本政府観光局(JNTO)のデータをもとに当社作成

# 訪日外国人が旅行中困ったこと

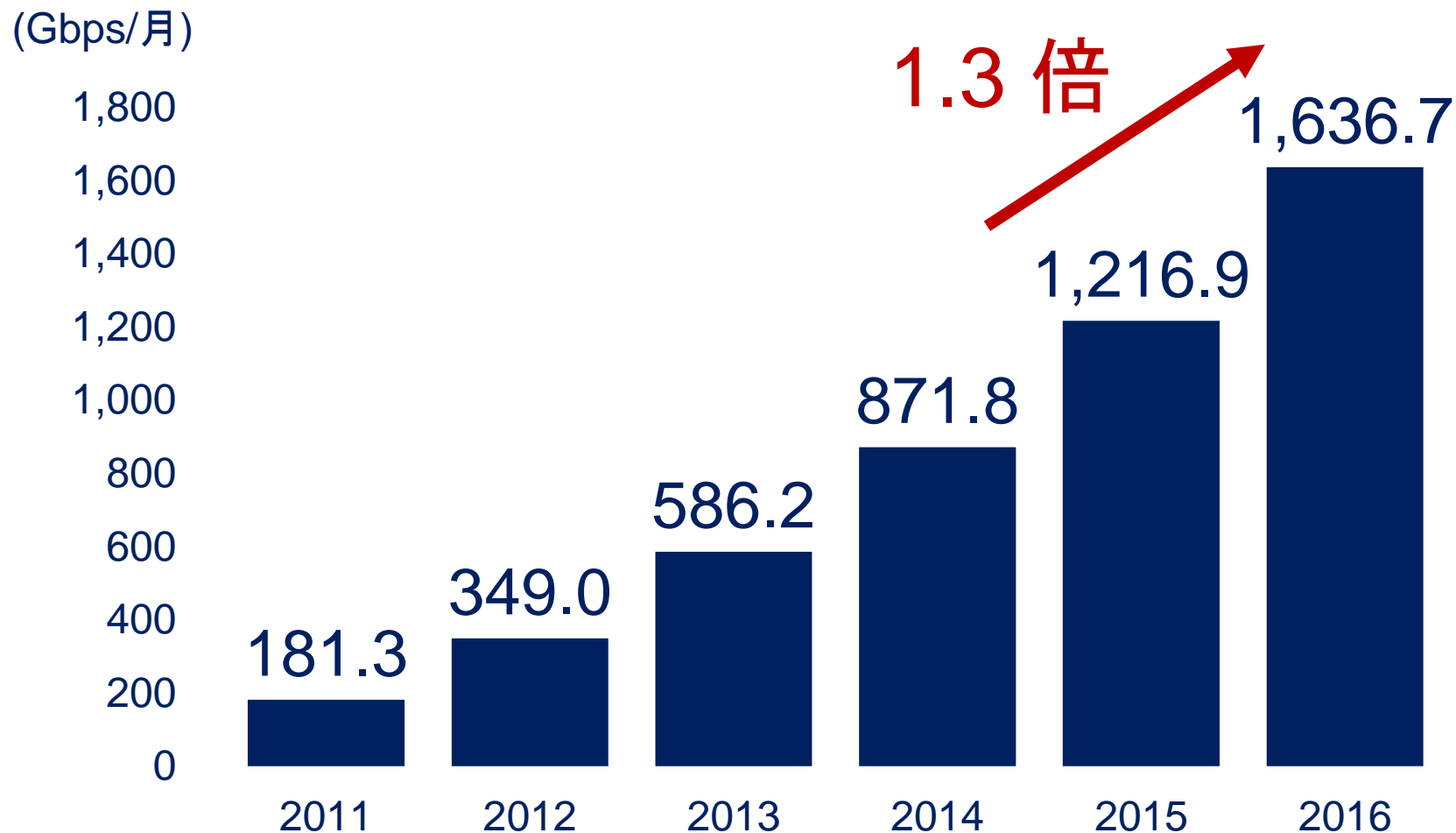


出典: 観光庁「訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関するアンケート」結果(平成29年2月7日)

## 国内MVNO市場環境



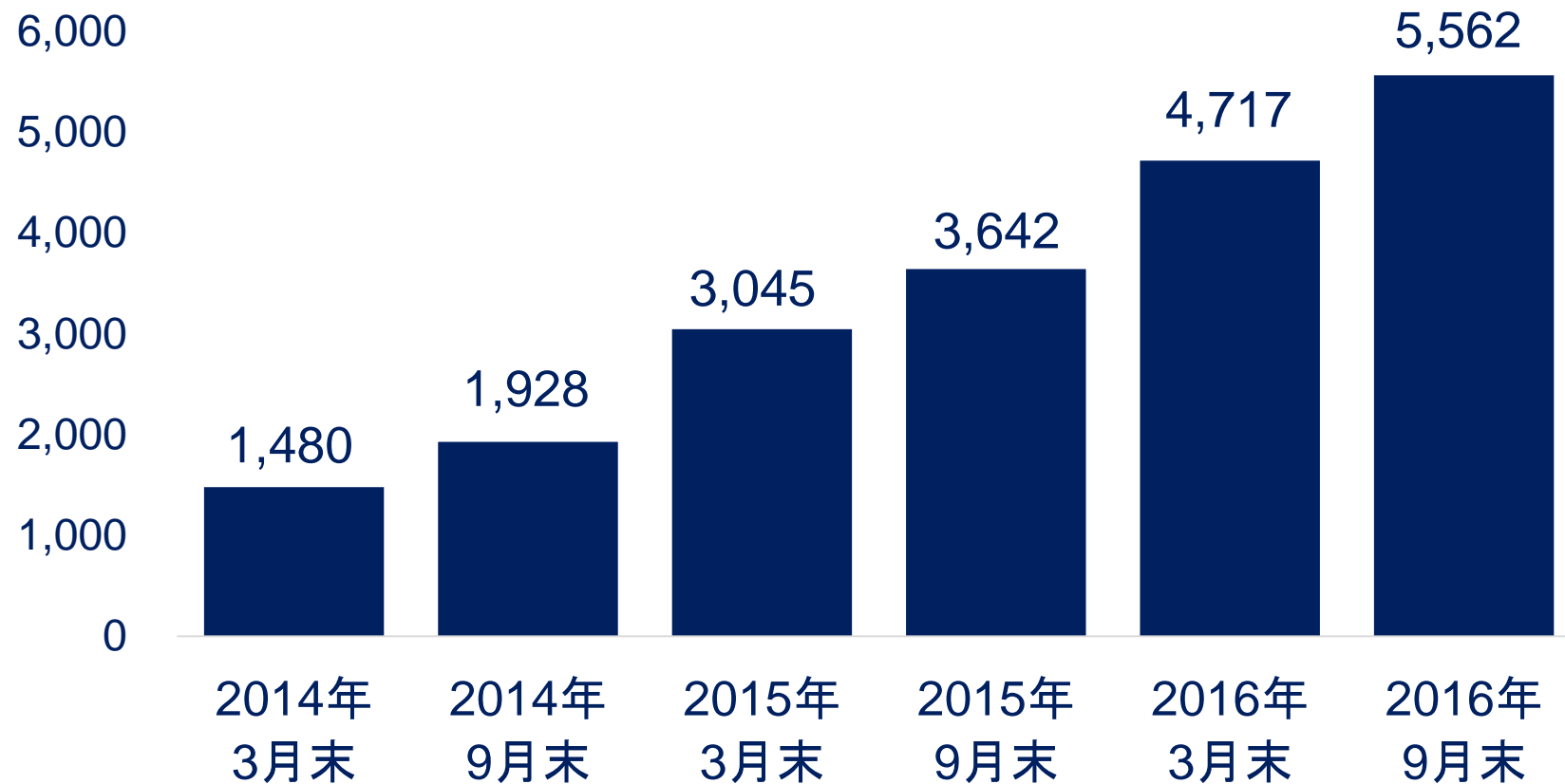
# 日本のモバイルデータトラフィックの推移



出典：総務省

# MVNO市場規模実績(契約回線数)

(万回線)

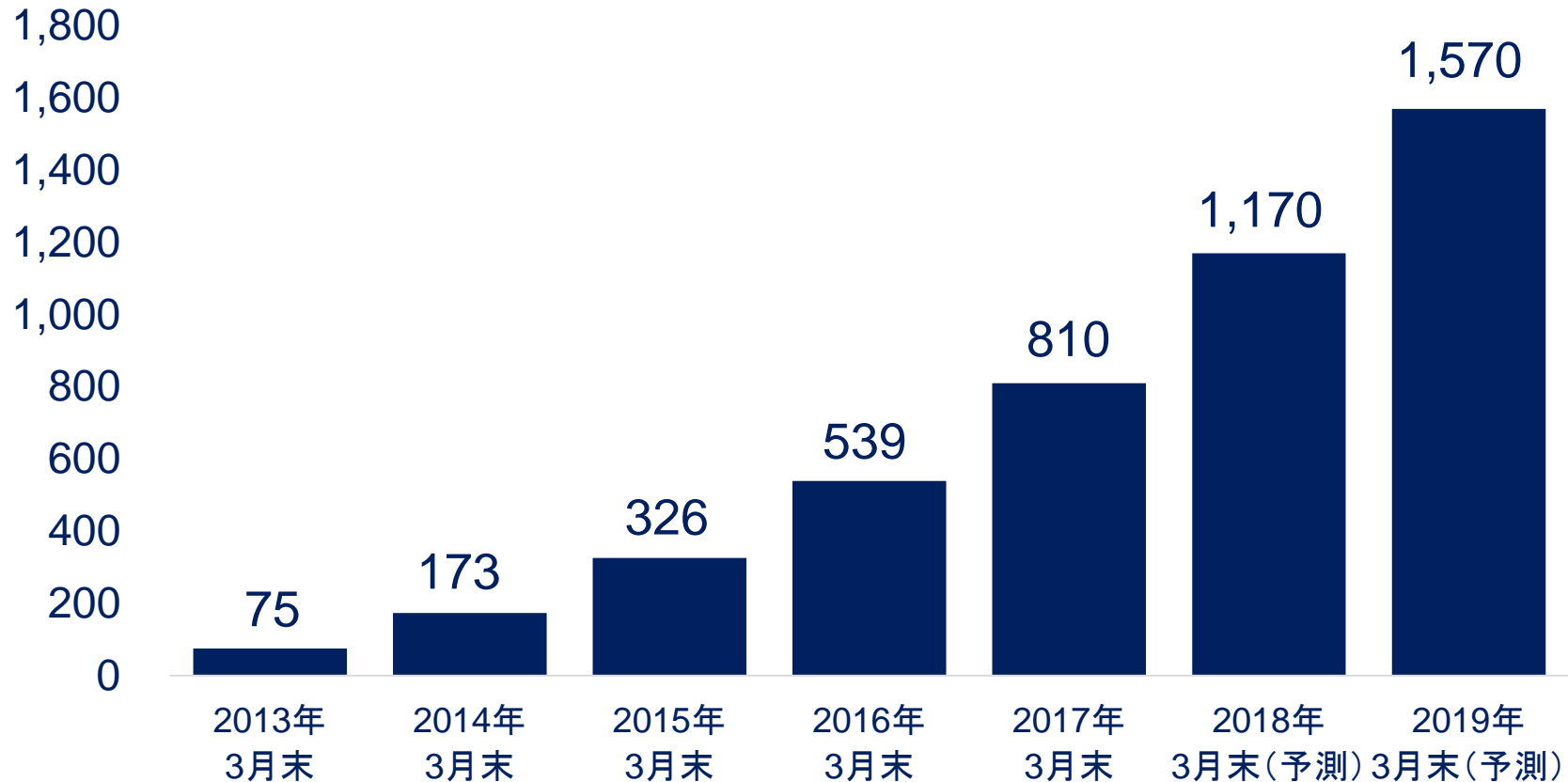


※MM総研調査による推定値

出典:MM総研「国内MVNO市場規模の推移(2016年9月末)」

# 独自サービス型SIM\*の市場規模実績および予測(契約回線数)

(万回線)



※MM総研調査による推定値

\*独立系MVNO事業者がSIMカードを活用し、独自の料金プランで提供する個人/法人向けの各種サービスをさす

出典:MM総研「国内MVNO市場規模の推移(2017年3月末)」

# サービス紹介

---


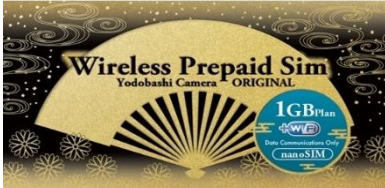
# サービス紹介 Wi-Fi

全国のWi-Fiスポットに1つのIDで簡単接続

プラン	月額料金	概要
	390円	<p>マクドナルド、スターバックス、ルノアール、東海道新幹線（東京～新大阪間）のN700系車内等、JR主要駅、主要空港、空港リムジンバス、高速バス、商業施設など、日本国内約40,000か所以上のWi-Fiスポットが利用できる月額定額プラン</p>
	580円	<p>日本国内約40,000か所以上のWi-Fiスポットに加えて、世界約2,000万か所のFonスポットも利用可能な月額定額プラン</p>

# サービス紹介 SIM

LTE/3G通信に加えて、Wi-Fiスポットが使い放題

プラン	月額料金	概要
	480円	<p>日本国内で使えるdocomoのXi/FOMAネットワークを通信速度最大250kbpsで利用できるほか、専用アプリから日本国内約40,000か所以上のWi-Fiスポットも使い放題</p>
	3,210円～ 4,290円	<p>LTE、3G、Wi-Fiが利用できる訪日外国人向けプリペイド型SIMカード 販売チャネル毎に、料金・サービス内容がカスタマイズ可能</p>

# サービス紹介 WiMAX2+

## データ通信専用

対応端末では、2016年12月より

下り最大440Mbps\*<sup>1</sup>の高速通信を実現

上り下り最大54Mbpsの

「ワイヤレスゲートWi-Fi」サービスも使い放題



プラン	月額料金	特徴
<p style="text-align: center;">ワイヤレスゲート <b>Wi-Fi<sup>PLUS</sup> WiMAX 2+</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>4,730円</b>*<sup>2</sup> (ギガ放題)</p> <p><small>*<sup>2</sup>おトク割及び長期利用割引の 540円/月引きを適用した 月額料金</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ WiMAX2+(ハイスピードモード)</li> <li>▪ au4G LTE(ハイスピードプラスエリアモード)*<sup>3</sup></li> </ul> <p><small>・ハイスピードプラスエリアモード利用時は、月額1,085円*<sup>3</sup>が別途掛かります。</small></p> <p><small>*<sup>3</sup>「au スマートバリュー mine」、「3年契約プラン」、「4年契約プラン」に ご加入でハイスピードプラスエリアモード利用料(月額1,085円)が無料</small></p>

\*<sup>1</sup>下り最大440Mbpsは順次全国へ拡大中です。上記の速度はシステム上の下り最大速度であり、ご利用機器や提供エリアの対応状況により、下り最大220Mbpsまたは110Mbpsとなります。

# オプションサービス

お客様のPCやスマートフォン等に関するトラブルを  
電話・リモート解決する総合サポートサービス

プラン	月額料金	特徴
<p>電話・リモートサポート</p> 	<p>490円</p>	<p>PCやスマートフォンについて365日間合せが可能 操作方法や活用方法などを電話やリモートでサポート</p>



# オプションサービス

ウイルス対策からゲームまで、あらゆるジャンルの人気アプリが月額料金で使い放題になるサービス

プラン	月額料金	特徴
<p data-bbox="85 722 546 786">アプリ超ホーダイ</p>  <p data-bbox="117 1039 498 1072">厳選有料アプリが使い放題 100タイトル突破</p>	<p data-bbox="944 915 1116 972">388円</p>	<p data-bbox="1222 729 1846 1158">世界最高レベルのウイルス検出率を誇る「スマートフォンセキュリティ」や、人気ゲーム「ぷよぷよフィーバー TOUCH」など、厳選された100タイトル以上のアプリをラインアップ</p>

# オプションサービス

読める、聞ける  
何台で使っても料金は1台分  
安くて便利な新・留守電サービス

プラン	月額料金	特徴
<p><b>スマート留守電</b></p> <p>これまでの留守電サービス</p> <p>スマート留守電</p> <p>便利でお得</p> <p>料金は1台分</p> <p>何台で使っても、料金は1台分</p>	<p>313円</p>	<p>『聞く』が進化 メールでも、複数台でも、 海外でも、『読める』留守電</p> <p>留守電が文字と音声で届き 内容と発信者がすぐ分かる 新しい留守電アプリ</p>

# IR補助資料

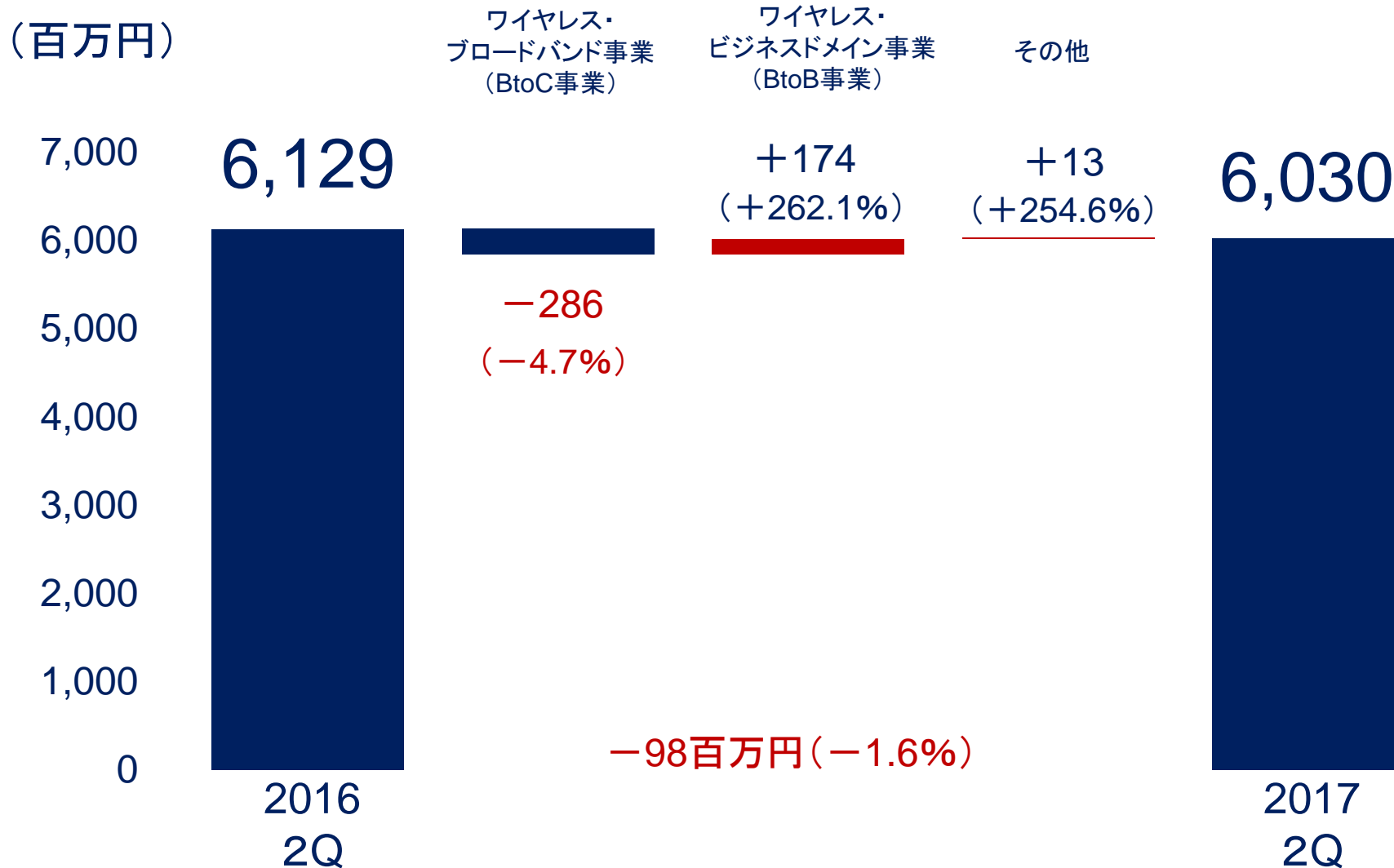
---

# 中間連結業績サマリー

(百万円、%)

	2016年 中間実績 (連結)	2017年 中間実績 (連結)	増減	前年同期比
売上高	6,129	6,030	-98	-1.6%
営業利益	637	437	-199	-31.4%
経常利益	535	358	-176	-33.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	330	201	-128	-38.9%

# 売上高の増減



# 会社計画 前提と変動要素

---

## 第14期 期初会社計画の前提(売上)

- ワイヤレス・ブロードバンド事業 (BtoC事業)
  - WiMAX  
競争環境の変化を鑑み、現状と同程度の純増ペース
  - 公衆無線LAN  
第13期と同程度の純減想定
  - SIM事業  
新サービス開始に伴う増加見込み
  
- ワイヤレス・ビジネスドメイン事業 (BtoB事業)
  - スtock収益として第13期実績を踏襲
  - 新規案件は受注確度に応じて金額反映

## 第14期 期初会社計画の前提(コスト)

第14期を初年度として事業ポートフォリオの転換に向けて、  
経営資源を集中投資する

- 営業内費用

- ワイヤレス・ブロードバンド事業 (BtoC事業)

- 新サービス開始に伴う一時的なコストの増加
- 競争環境の変化による顧客獲得コストの増加

- ワイヤレス・ビジネスドメイン事業 (BtoB事業)

- 本格的な業務展開(子会社LTE-X)に伴うコスト増加

- 営業外費用

- フォン・ジャパンにおける持分法投資損益(第13期と同程度)



# 計画差異と変動要素について

## ポジティブ

- ① 「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」サービス全体の利益率が上昇傾向
- ② 子会社LTE-Xが4月に検証キットの販売を開始する等、順調に事業を進捗

## ニュートラル

- ① 「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」の会員数が堅調に増加
- ② 競争環境の変化による顧客獲得コストの増加
- ③ ワイヤレスゲートSIMの新サービスの販売見送り
- ④ フォン・ジャパンの持分法適用化によるのれんの償却開始(10年) 勘定科目/持分法による投資損失

## 通期業績予想の修正理由

---

- 売上高  
→ 据え置き

### 下期

ワイヤレス・ブロードバンド事業 (BtoC) が堅調  
ワイヤレス・ビジネスドメイン事業 (BtoB) の売上が  
引き続き伸長

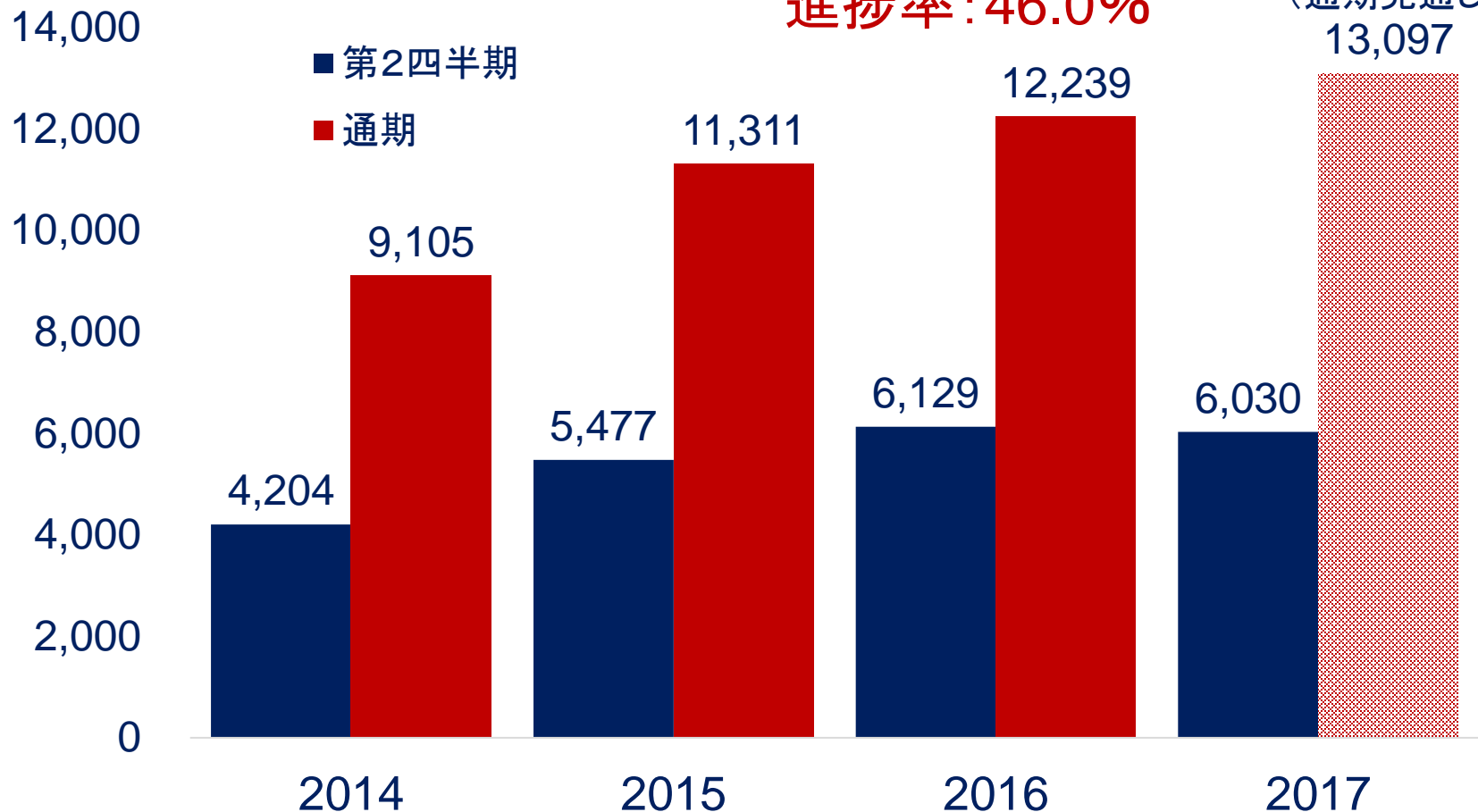
- 利益  
上期までの過達分を踏まえ上方修正

# 売上高の推移

(百万円)

通期見通しに対する  
進捗率: 46.0%

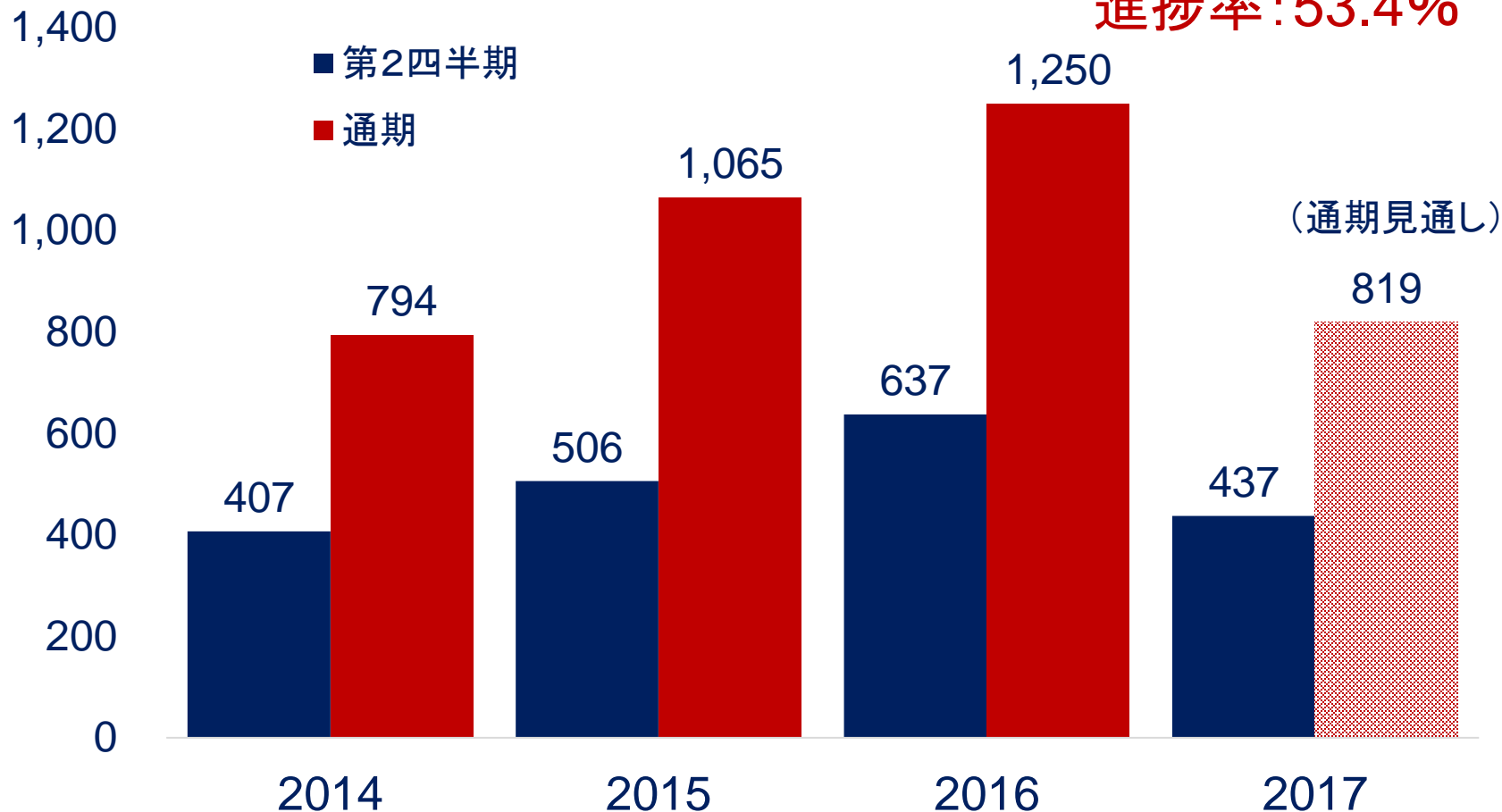
(通期見通し)  
13,097



# 営業利益の推移

(百万円)

通期見通しに対する  
進捗率: 53.4%



# 株価の現状認識と 株主還元方針について

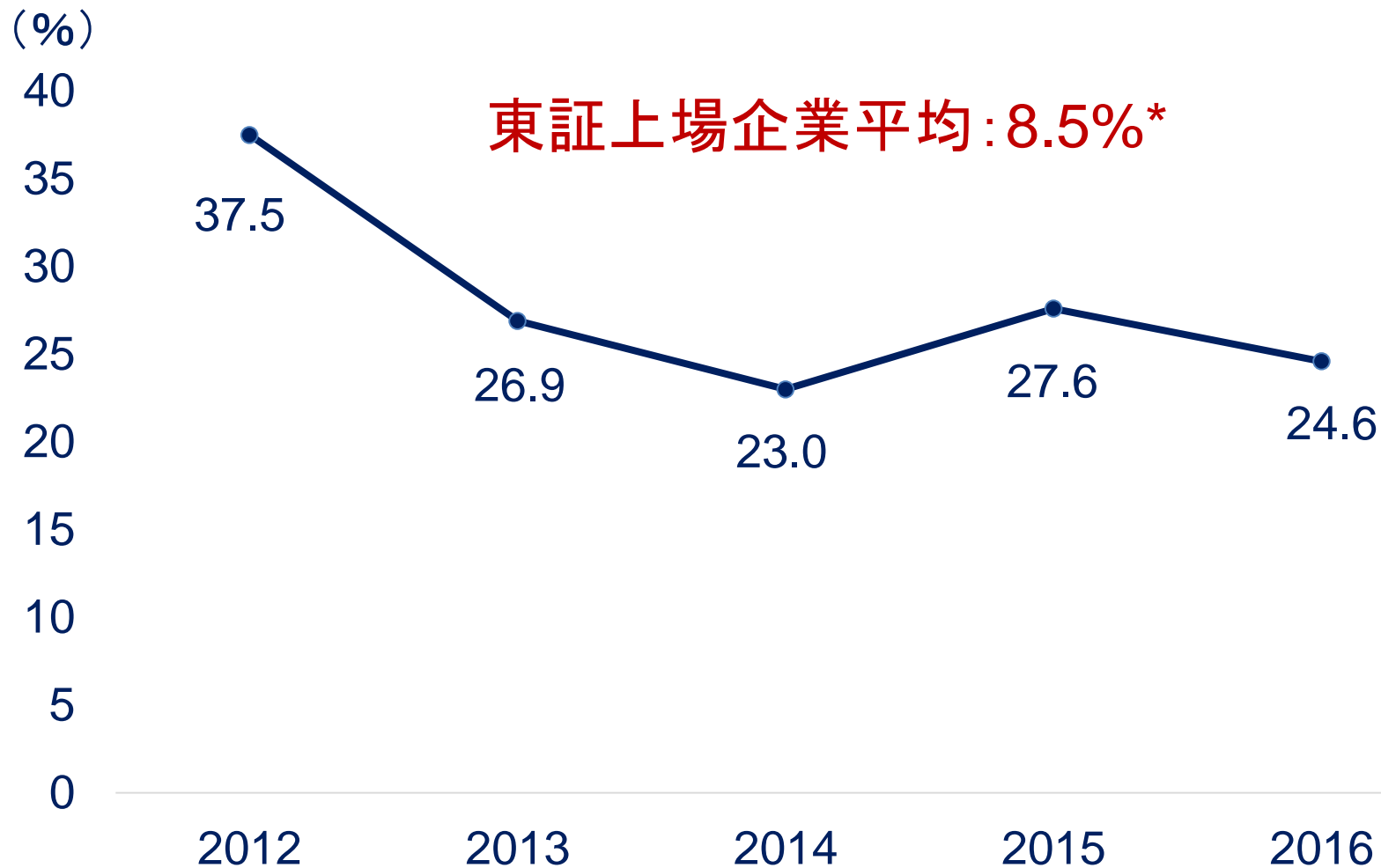
---

# 株価の現状認識

時価総額		株価	
15,078百万円		1,438円	
1株当たり当期純利益 (EPS)			
会社予想修正前		会社予想修正後	
32.68円		40.07円	
PER (予想)			
会社予想修正前		会社予想修正後	
44.00倍		35.88倍	

(2017年8月2日現在)

# ROEの推移



\*東京証券取引所 2017年3月期決算短信集計【連結】《合計》(市場第一部・市場第二部・マザーズ・JASDAQ)

# 株主還元方針

## DOE を重視

(2016年:9.8%)

### ROE

(2016年:24.6%)

資本・業務提携/M&Aも  
活用した収益機会拡大

×

### 配当性向

(2016年:40.0%)

安定的な配当

+

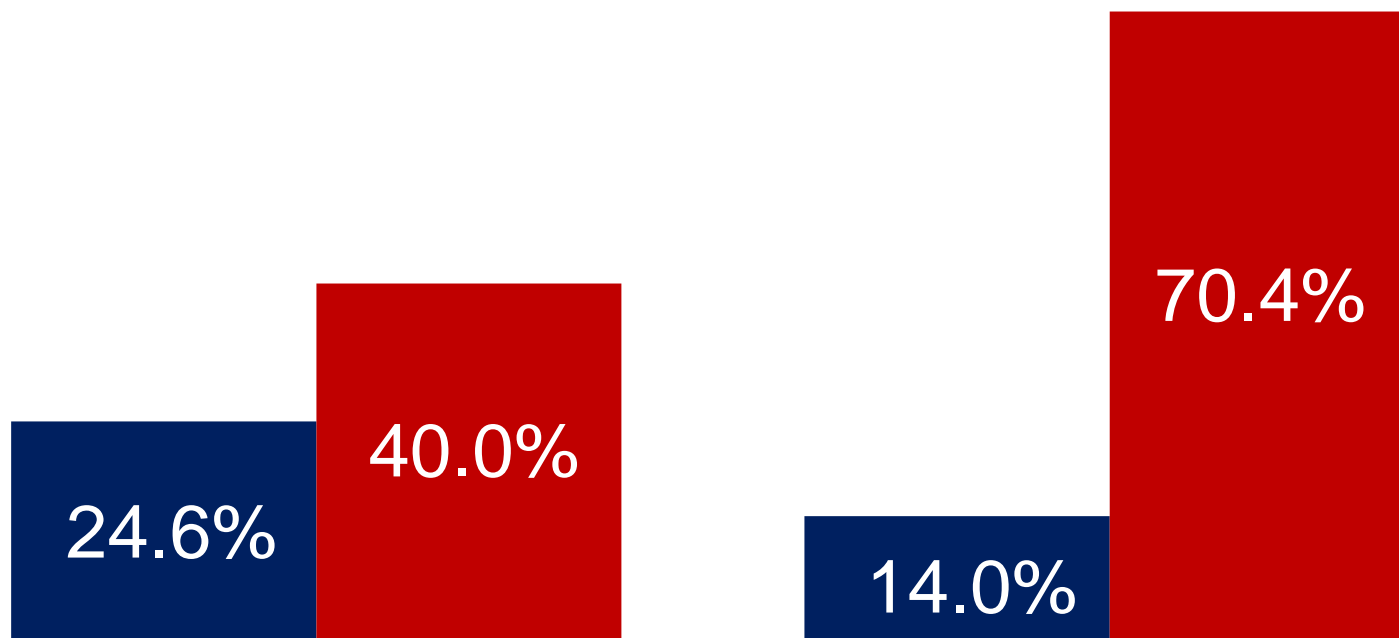
機動的かつ柔軟な自社株買い  
「総還元性向」



# 収穫フェーズと投資フェーズの株主還元

FY2016  
DOE: 9.8%  
(収穫フェーズ)

FY2017  
DOE: 9.9%  
(投資フェーズ)



■ ROE ■ 配当性向

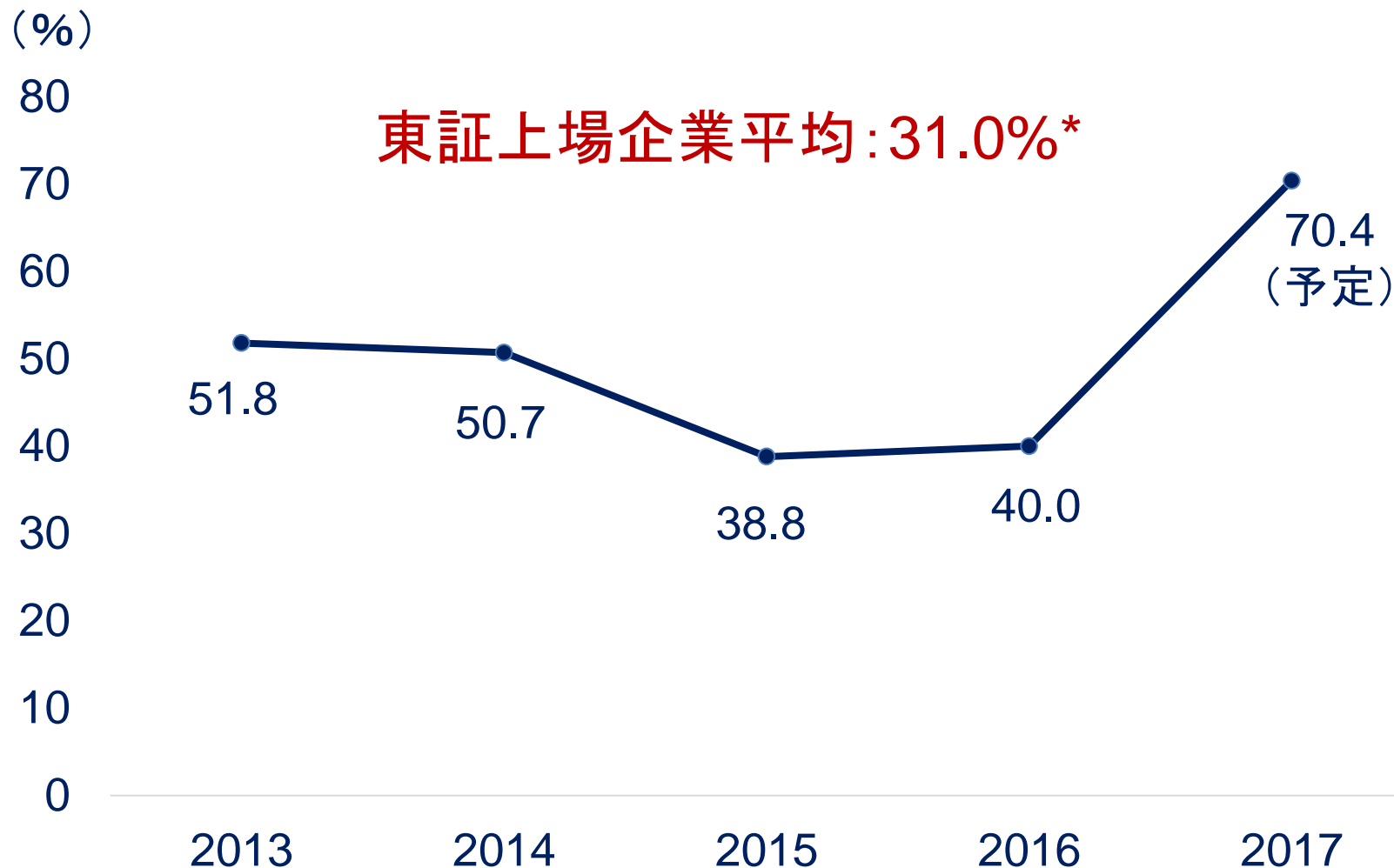
## 第14期 配当予定

2017年12月期  
期末配当実施予定

第13期27円/株 → **第14期28円/株**

**配当性向70.4%**

# 配当性向の推移



\*東京証券取引所 2017年3月期決算短信集計【連結】《合計》(市場第一部・市場第二部・マザーズ・JASDAQ)

# プレスリリース

リリース日	リリース内容
2017年1月10日	「JPX 日経中小型株指数」構成銘柄への選定に関するお知らせ
2017年1月13日	世界最小クラスの紛失防止IoTデバイス「MAMORIO」の販売において業務提携 浅草六区 社会実験にて防災情報発信支援
2017年2月9日	浅草おもてなしプロジェクトを開始
2017年2月13日	中期経営計画策定に関するお知らせ 子会社(合併会社)の増資に関するお知らせ(特定子会社化)
2017年2月23日	剰余金の配当に関するお知らせ 取締役(監査等委員である取締役を除く。)の選任に関するお知らせ
2017年2月27日	公衆無線LANサービス「ワイヤレスゲートWi-Fi」の法人向け販路拡大
2017年3月24日	経済産業省IoTおもてなし実証事業に参加
2017年4月21日	道の駅における無料Wi-Fiスポットが300施設を突破
2017年4月25日	株式会社Secualとの資本提携に関するお知らせ
2017年4月27日	産業用IoT向け検証キットの販売開始について
2017年5月29日	Bluetooth対応スマートジュエリー「Luminous craft」の販売において業務提携
2017年7月7日	世界初のワイヤレス・エアー・ヘッドホン「VIE SHAIR」の取り扱いを開始
2017年8月3日	平成29年12月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異及び通期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

# 用語集

用語	読み	解説
MVNO	えむぶいえぬおー	仮想移動体通信事業者のこと インフラを自社では持たず、通信事業者から借り受けて通信サービスを提供する事業者のこと
ワイヤレス・ブロードバンド	—	インターネットをする際にケーブル等の線を接続せずに無線電波にて通信を行うこと
Wi-Fi	わいふあい	無線通信規格の一種
WiMAX2+	わいまっくすつーがらす	無線通信規格の一種 従来のWiMAXをより高速化し、また高速移動中でも通信できるよう拡張したもの 日本国内ではUQコミュニケーションズ株式会社等が提供している
LTE	えるていーいー	Long Term Evolutionの略称であり、第三世代(3G)データ通信を更に高速にした次世代携帯電話の通信規格 無線でありながら、光ケーブルなどの有線ブロードバンドサービスに迫るスピードで高速データ通信を行うことを可能とする
アグリゲーター	—	自らはアクセスポイント等の整備を設置せずに、各アクセスポイントを設置している事業者の複数の無線LANサービスを1つの認証で提供していること
ID・パスワードの認証プラットフォーム	—	IDとパスワード情報から当社グループのサービス契約者であることを認証するためのシステム
課金プラットフォーム	—	当社グループのサービス利用者からサービス利用料金を徴収する為の課金システム(クレジットカードにより利用料金を徴収)
3G	すりーじー	第三世代移動通信システム 例)FOMA
4G	ふおーじー	携帯電話やスマートフォンで利用される無線移動体通信技術の第四世代を指す 例)LTE-Advanced、WiMAX2+
Xi	くろっしい	NTTドコモが提供する高速データ通信規格LTEのサービスブランド名
ビッグデータ	—	インターネットの普及や、コンピューターの処理速度の向上などに伴い生成される、大容量のデジタルデータ
クラウド	—	コンピューターリソースやシステムを自前で保有せず、インターネット上のサービスとして活用する新たなサービス形態
SIM	しむ	通信事業者が発行するICカードで、携帯電話の電話番号を特定するための固有のID番号が記録されているもの
IoT	あいおーていー	モノのインターネット コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続させ相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと
LTE over Wi-Fi	えるていーいーおーばーわいふあい	Wi-FiのアクセスポイントをLTE基地局のように動作させることで、LTEネットワークが持つ様々な機能をWi-Fi上で実現する技術

# 経営理念

---



「ワイヤレス・ブロードバンドサービスを通じて、  
より創造性あふれる社会の実現を目指す。」

## 将来見通しに対する注意事項

- ✓ 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報 (forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ✓ これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ✓ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。